いわき民報

發行所
いわき民報社
平市[illegible]　電話三八一番
編輯發行兼印刷人　千輝克己
日刊　但月曜日を除く
定價　一ヶ月[illegible]圓　一部三十錢

小兒科
內科
酒井醫院
平市南町
電話五五番

さめ川分水路計畫實現へ

總工費實に三千六百萬圓で

青山東大教授等きのう視察

常磐炭田防排水對策委員會及び商工局平出張所では常磐炭鑛のじやく熱の坑內に冷水を送り增炭に拍車をかけようと鮫川分水計劃を樹立した、右に基いて二十三日石炭增産協力會から青山東大教授、田川貴族院議員及び伊藤代議士が植田町に來り水路その他の實地視察を行つたので鮫川せき水利組合では全日常設委員である植田町古川傳一、渡邊村高木善技泉村鈴木孝章、小名濱小濱長太郎、駒木根忠藏の五氏が參集案內に當ると共に種々懇談町役場に請負關係者の出席を求めて協議した結果、右計劃に基いて四月から明春三月いつぱいまでに失業對策工事として實施することに內定した、分水路から二キロの水路を改修、三キロを新設するが總工費は三千六百萬圓で中六百萬圓を地元炭鑛側が負擔、三千萬圓を國で支出するものである、完工の曉は流域千三百町歩の二毛作の實現も期し得る外湯本町の飲料水にもなる譯で一石三鳥の利をみることになつている

四倉民主青連

あす選擧對策協議

委員長には小湊氏

青年の思想及び文化の向上を圖り政治意識の昂揚をはかる目的の下に四倉町を中心に大野大浦等近郊の青年男女二百余名を網羅、委員長に小湊秀一氏を副い員長に吉田松男氏を推して去る二十日四倉民主青年連盟が結成されたが二十五日各民主團體及び勞組の參加も求めて選擧對策その他についても協議する、なお選擧には對策い員會をも設置する豫定でいるが左の聲明を發することになつている

聲明書

敗戰と云ふ現實に依つて封建的壓制から解放され、自由の身となつた吾々勤勞青年は荒廢した日本を明るい住良平和な國に造らなければならぬ、外地からの引揚者不幸な戰災者親夫を失つた遺家族これ等の人々として復員者は未だ路頭に迷ひ生活にあへいで居る現狀である、この不幸な人々を救ひそして頑迷な保守反動勢力と斗ふのは吾青年なのだ。

ひるがへつて日本政治の現況を見るに未だ十分に民主化されて居る事は云ひ得ない封建的保守反動の勢力が依然として各地に在潛しておる特に市町村各地に於て甚しいものがある吾々は現實を把握して固き信念のもとに眞理をあく迄探究して止まない情熱を以て立ちあがらねばはないか　國家將來の安定のため亦郷土の民主化のため青年の使命に生きようではないか

四倉民主青年連盟

八氏の資格申請を提出

統一資金要求あくまで努力

きのふ縣炭勞協擴大委員會

縣炭勞協擴大委員會は二十三日午前十時から平勤勞署階上に三十余組合代表百五十名が參集、先づ竹田中央委員から全國賃金統一要求の經過及び交せうについての詳細な報告その他一般報告があつてから、要求の貫徹についてはあくまで各關係方面に呼びかけて努力することを申合せた、ついで來るべき選擧對策についても懇談の末左記八氏の資格申請を行ひ、この中から二名乃至三名をよう立、縣議戰その他に華々しく各地區にも呼びかけて必勝を期することゝした

渡邊勝治（常磐）武藤武男（全）大河原一次（古河）竹田昇（全）田端金光（大日本勿來）渡邊武之伸（全）二條與作（日東宮）松本左吉（矢郷）

專門委員會で

投書函も食堂へ設置

日本旅行クラブ平班では二十二日午後六時からサロンに初委員會を閉いて、今後の活動方針その他について協議委員を左の如く小專門委員會に分けて夫々具體的計劃を樹立、來月を求めることゝしこれは早急に實施することゝした又炭鑛中心としてのハイキングも近く行う、外交通公社內に名勝案內その他の地圖繪はがき等々の參考資料の常備もすることになつた

◉企劃　內藤武雄、阿部康雄、馬目精一
◉弘報　千輝克己、三浦芳勝
◉觀光　山崎健助、加藤重義、千輝克己
◉旅行　武田金一、井上正、眞似井民門、北村正三

なお市內三ケ所の外食券食堂と驛に投書函を設置、一般旅行者の食堂及び旅館その他旅行上について不平不滿等を求めることゝし……

伏見彥衛氏

平市國民健康保險組合主事伏見彥衛氏は二十三日午後二時急性肺炎で市內舊城跡の自宅で急逝した、行年七十七才告別式は二十六日午後一時から二時まで自宅で行ひ性源寺に葬送する、氏は故青沼町長の前に平町長二期及び助役も一期半つとめた溫厚の努力家で去る昭和十九年一月二十八日健保組合創立と同時に主事に就任問題の多い健保を今日までに導いて來た功勞者である

追加推薦

旅行ク平班で

顧問參與を

日本旅行クラブ平班では二十三日の初委員會で左の如く顧問及び參與の追加推薦を行つた

◉顧問　野崎滿藏、諸橋久太郎、高橋伸典、永山德一、大嶺秀、鈴木傳明、清宮一郎
◉參與　大內近雄、市井茂、武田德治、酒井清、關內榮助、鈴木新右衛門、清水廣政、山崎忠兵衛、諸橋元三郎

マージャン
イーワン莊
平一丁目聚樂館裏

宮澤組が優勝

市郡下複合卓球戰

濱通りスポーツ連盟主催の市郡下複合卓球大會は二十三日午前九時から平第三國民學校に開催參加チーム五十組で終始白熱戰が展開されたが結局平クラブの宮川、會澤兩君に凱歌が擧つた記錄左の通り

▼準決勝戰
宮川 會澤（平俱）二―〇 太部 星野（平俱）
澁澤 新妻（平俱）二―〇 金成 一條（勿來）

▲決勝戰
宮川 會澤（平俱）三―二 澁澤 新妻（平俱）

壓死

ズリ場で

炭拾いの危禍

好間村行人澤無職鈴木ちよさん（四〇）は二十二日午後三時頃平炭鑛ずり捨場で採炭中土砂崩壞で壓死

外科　諸橋鐵彌
內科　松本源一
金成醫院
平市鎌田町
電八二六番

湯本高女

進工

本月末日には上とう式を擧行

湯本高等女學校縣立昇格に對する增築は請負擔當者長谷川組（長谷川誠一氏）の資材獲得入手に幾多の涙ぐましい奮闘努力により工事も着々進工本月末日には愈々上とう式が擧行されることになつた、今年の卒業生には第一回縣立高女卒業として送り出したい十文字校長の親心と萬難を排して資材獲得建築に努力した賜として大いに感謝されてゐる

輕演劇と音樂

事業資金の造成に

同胞援護支會が

同胞援護會平市支會では市役所及び民衆劇場の後援で二十六、七の兩日午後一時及び午後六時の晝夜二回宛援護會事業資金造成のために輕音樂會の最高峰松竹專屬の鈴木桂介、ポリドール專屬土屋伍一、ビクター專屬瀧冷子、吉本興業の小宮凡人、キングレコードの葉山マユミ合同加盟樂團一行三十六名を招いて輕演劇と音樂の會を催すことに決つた、なお市の遺家族慰安のため招待も行うが入場料は前賣五圓、當日賣二十圓である

いわき寸言

△鮫川分水計劃ほゞ決定、總工費三千六百萬圓大工事ではあるが完工の曉の利益たるや莫大

△縣炭勞協もいよ〳〵選擧對策に八氏の資格申請を提出中二三名を出馬させ必勝を期すという

△勞働者の力の結果を示すには素晴しい機會である

▽複合卓球に平クブラの宮澤組優勝すスポーツ熱いよ〳〵高くなつて來たことは嬉しい

△この際綜合競技場のほしいのは筆者のみではあるまい、大方の奮起努力を希う

△元平町長だつた伏見彥衛翁急逝す七十七の老軀を提げて兎角の評ある國民健保組合を育てた勞等は大きく感謝されねばならない

△湯本高女もいよ〳〵進工月末には上とう式擧行というたゞ目出度しと喜ぶ

急告

本校假校舍賣却の豫定につき御希望の方は二月二十七日（午前中）までに當校に御申込下さい

平市舊城跡
磐城農學校

急募

一、男子工員　三十名
收入多大熟練者に對しては月收二、〇〇〇圓保證、年齡問はず

平市新川町二七
いそだま本舖
電話七九三番

共產黨員志賀重義君に告ぐ

平市南町　川德組　川和德一

二月十七日附、在日本朝鮮人聯盟福島縣本部並に在日朝鮮人團体の好間村隅田川炭鑛地帶の事件眞相と題して公にしたるビラの中に「平市中に巢喰ふ不良青年モロッコ團一味數名は、共產黨員志賀重義氏の留守宅に海軍ナイフ、その他を持つて毆り込みをかけ其の後も身邊につきまとい云々」とあり、尙その他に磐城民主聯盟委員長大內近雄氏もかゝる襲擊をうけた事實があると發表し、而も今度の好間事件と僕達に何等關係なく、事實無根の記事がある爲、大內近雄氏にその有無を訊ねたるところ『かゝる襲擊をうけたる事實なし』との確言を得たので君にも面會し以上の事實につき確證を得たく、君を探し求めること數日なり。

ある知人は、志賀君は東京へ行けりと、他の人は小川に居ると云ひ、又或る者は白水に居るともいふ。

これ以上探し求める時間もなく茲にいわき民報をわづらはして君に通告する次第である、上記の件につき篤と面會し、男同志の話をしてみよう、大至急、君の居所を知らせるか、自宅に御足勞を希ひたい、或ひは又君の指定する何れの場所に僕を呼ぶとも御隨意である附言するが僕は何れの所へ君を求むるも一人で行く、そして立派に以上の事實につき黑白けをつけたい。大至急御回答を乞ぶ

二月二十四日

同胞援護事業資金造成興業

笑の輕演劇……
樂しい輕演劇とおどりの樂團
合同加盟樂團一行
三十六名
堂々開演

松竹專屬　鈴木桂介
ポリドール專屬　土屋伍一
ビクター專屬　瀧冷子
吉本興業部　小宮凡人
キングレコード　葉山マユミ

輕演劇界の最高峰

一、目的　後援事業資金造成平市御遺族慰安招待
一、期日　昭和二十二年二月二十六、七日　ヒル一時　ヨル六時　開演
一、入場料　前賣十五圓、當日賣二十圓

主催　同胞援護會平市支會
後援　平市役所　民衆劇場

急告

當組合ノ創立總會ハ公會堂日本間ニ開ク豫定ノ處、次ノ如ク會場ヲ變更致シマシタ御通知ニ代ヘ公告致シマス

日時　二十六日午后一時
會場　平警察署武德殿

平地區商業協同組合發起人會

新繭價は千百掛に決定

昨夏秋蠶は九百掛に落付く

繭價七百掛を千八百掛に一躍大幅引上げの件はその後の情勢の變化に依り實現困難となり去る十七日には東京神田日大講堂で全國業者大會が開かれたりして成行を注目されていたが結局新繭價二百掛上げの九百掛とし昨年の夏秋蠶繭から適用本年の春繭以降はこれに報獎用として二百掛を加算千百掛とすることに決定された、右新繭價は大正十年から昭和五年まで十ケ年間の米一石の價格と繭一貫の價格との平均此率を〇、二七二としてこれを米價石五百五十圓に乘じて繭一貫匁の價格を百二十五圓九百掛と算定したものである、從つて本春繭以後は千百掛だから貫百五十四圓となるわけである

は大きな途が開かれたことゝいえよう

新教育制度と青年學校教育

今後の在り方をみる

徴兵の豫備教育機關とみられていた青年學校は六、三制の實施に伴つてどんな途が拓かれるか、新學制による今後をみる

普通科生は新制中學え

本年は普通科一、二年修了者は新制中學の三年に編入、本科一年修了者は三年に編入することが出來ると共に普通科は全廢される、然し通學家庭の事情等から新制中學校に進めないものは本科一年に進んでもよいことゝなつている、從つて青年學校には普通科を修了した一部のものが本科一年に進學する外二、三、四、五各學年とも從來通りの組織をもつことになる

廿三年度本科全廢

だが二十三年度からは本科も全廢されるが文部省案では四、五年の隔日制高等學校をつくり、各級當學年をこの高等學校に編入する方針で又優秀者はこの年度からできる三年全日制の高等學校に編入試驗を經たうえ入學も出來ることゝなつている

廿四年度完全抹殺

かくて二十四年度以降は小學校、中學校、高等學校(全日制)高等學校(隔日制)と一連の新制度が確立し青年學校は中學、高等學校に完全に吸收されてまつたく教育上から抹殺されてしまうことになる、新學制では九年間の義務教育を經たものは誰でも大學の入學試驗を受ける資格が得られるわけで、この意味でも青年學校生徒の前途に

共學制で緩和

郡下新入兒童

六、三制實施初の郡下の新入學兒童數は男三千四百五名、女三千百九十二名計六千五百九十七名とまとまつたが新制度實施に伴ふ學級増加は男女共學制をとるため二部では相當困難を豫想されているが各校既設建物を利用することに決定しており案外順調にはかどるものとみられている

漁船保險改正

有利となつた加入者の利便

漁船の建造費、修繕費の値上りや建造資金借入の擔保のためなどにより漁船を保險に付けることが一層必要になつたので政府は民間の要望に應えて漁船保險加入者の便益を圖るため今回漁船保險法施行令(勅令)及び施行規則(農林省令)の一部を次の通り改正し二十一日から實施する

一、政府が漁船保險組合の引受けた保險金の百分の七十を再保險していたものを百分の九十に改める

二、組合が政府に拂込む附加再保險料の率が從來保險料の百分の十三(組合の純保險料の百分の九、一に當る)であつたものを百分の五(同百分の四、五に引下げる

三、保險價格(船價)の百分の五以下の小さな分損に對しては從來保險金を支拂わなかつたが保險價格一杯を保險に付けたものは百分の二以上の分損であれば保險金を支拂うことにした

四、戰爭の危險が消滅したので戰爭保險制度を廢止する

重要物資輸送協議會を結成

會長は本田平署長

逼迫せる輸送事情にかんがみ鐵道輸送と陸上小運送とを直結させ生必資材および重要物資の輸送を優先的に確保するためこんど平署管内の輸送關係團体および生産關係團体を網羅して平地區重要物資輸送協議會を結成することになり目下結成準備をいそいでいる、會長には本田平署長と内定副會長には日通支店長管内各驛長からの適任者を選び、協議會員には日通支店、管下各驛長、食糧營團出張所長、地區木材生産組合長、農業會郡支部長、地方事務所長、要炭生産者代表、輸送業者代表等その他關係者を網羅して月一回協議會を開き縣協議會で策定の輸送計畫に基て各驛別、物資別に在貨地からの輸送計畫を策定、その輸送責任者をも決めるので期待するところ大きいものがある

坑木確保打合せ會

二十七日高萩町で

石炭増産には先づ坑木からと、茨城地方石炭増産本部では常磐地區にも呼びかけ、二十七日午前九時から高萩町松尾館に坑木の確保、勞務者の住宅其の他の件に關して協議する

〈映畫紹介〉

東寶作品

エノケンの法界坊

世界館で上映

瀧村和男の製作、演出が齋藤寅次郎、カメラが鈴木博、主演はエノケン―東寶作品の例のエノケン的なもの

▼配役▲

法界坊	榎本健一
永樂屋の手代要助	小がさ原章二郎
永樂屋の女房おらく	英百合子
同　娘おくみ	宏川光子
同　番頭長九郎	如月寛多
大阪屋源兵衛	中村是好
甚三	柳田貞一
永樂屋のばあや	浪木たづみ
永樂屋の小僧	今泉浩
すりの女お銀	千川輝美
角藏	土方健二
又八	木下國夫
猪之助	梅村次郎
易者	田島辰夫
浪花節語り	南光司
熊公	金井俊夫
つづらを背負ふ男	新井也太

―▲梗概▼―

時は春、所はお江戸向島、道具屋永樂屋の一人娘おくみを廻つて色男要助(實は御家重代の寶物鯉魚の一軸を探し吉田屋再興の大望ある身)排々爺の大坂屋、惡手代の長九郎インチキ坊主の法界坊と、四つ巴の戀愛合戰が始つた

要助が問題の軸を手に入れる方便に、おくみと大坂屋の假祝言が行はれる事になつたが敵役の長九郎に席は引つかき廻された擧句の果に法界坊に大切な一軸を盗み出されてしまつた、助平爺の大坂屋は長九郎にそゝのかされて法界坊をバッサリやつてしまふつもりで出掛けたが、寄る年波はあべこべにノバサレてしまつた。

「雉も鳴かずば打たれめい益なき殺生してござる。ナムアミダブツ〳〵」とは大變な惡坊主法界坊、今度は手を變へ穴を掘つて通り來るおくみを生捕りとゆう荒療治を考へ出したが忠實な番頭甚七に感付かれ却つて穴に自分が投げこまれた

穴の中でバタバタしてゐる所へ通りかゝつた長九郎に助けてくれと聲をかけたが大間違ひ、永樂屋とおくみを手に入れるには邪魔な坊主とばかりブスリとやられてしまつた、かくて法界坊「クスケテクレ」の聲もやがて聞えなくなつてしまつた、とたんに「アーラ不思議」一天俄かにかき曇り怪しげな陰火ドロドロと立ち上つた。

これこそ法界坊の變り果てた姿です

このインチキ陰火の行くところ、異變に次ぐ異變、悲鳴、叫聲、幽的になつてからの法界坊こそ、いよいよ珍事な活躍がはじまります。

皆さまのお樂しみを！
キングレコード
家庭染料　みゆき染
有名化粧品　固型洗濟　染料
玩具　文房具　レコード針　甘味料
小吉商店　平市4丁目　電236番

藥のことならーキクので評判
ダルマ藥局
小名濱町電222番

いわき俳壇

早春抄

小名濱文協俳壇部　石井芳江

萬づの木さきがけ美しき芽木を見し
はね返す角芽の枝をよけながら
芹つめばそこらあたりの水々し
と燕す山べの家のかくばしく
雨の日をかさねて雪を遠ざけぬ
椿など咲く隔たりに家建つる
散る椿吸ふとき水のうづ鳴りぬ
淺春の麥生におりし群れ鶲
水温む眞白き米を零しあり
下萠やこのごろ水に色をなす

冬去らむ

片川園

終日や蒲團に吞まる猫火鉢
風はやる患かや火鉢齧にふるひ
青庭や蒲團温もる日和哉
言はすれば何をくだまく空の風
北風の吹き卷く頃や荷を冠り

詩

小濱海岸に

人を訪ねて　夏川純

荒磯の風はかなしも
ほつれ髮かみしだきつゝ
春淺き海にし對ふ
冷え〳〵と磯にまろびて
立つ潮の淺きいろみぬ
かなしきは海の籟なり
寂しきは松の籟なり
磯に立ち人を思へば
うれひのみ胸にあふれつ
なぎさ行き國を思へば
憤りのみたぎり立なり

◎美人女給◎
カフエー
マツバ殿堂
宴會に御利用下さい
小名濱町濱町
◎至急入用◎

短歌

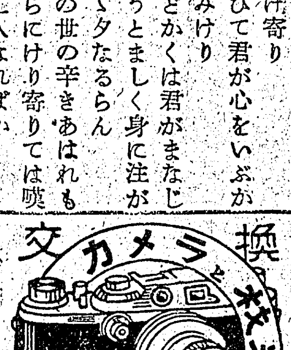
嘆くこゝろ

かつみ

思ひ出は何の花かも美しくしかはあれどもあはれ深かり
ふとしたるものゝ怪のかげ寄り添ひて君が心をいぶかしみけり
などかくは君がまなじりうとましく身に注がるゝ夕なるらん
人の世の辛きあはれも知らにけり寄りては嘆く二人なればか
會ひ知れる人の如くに見返りぬかなしき人に似たる面こし
戀といふ未練にかくまでをさとながらふべくやわれの命も
眞赤なる夕映えのさすかの森にかなしき夏の思ひ出の湧く
ふとしては問はべもしるきことをいふ君が心はかなしかりけり
君が心いぶかしみたる心より夕の暗のかなしみは湧く
寄り添へどさびしく嘆く人ありてこの森のべの夕かなしも

福島縣指定事業重點工場
平硝子製作所
平木工株式會社
社長　佐藤幸太郎
專務取締役　足助重雄
本社　市新田町二六　電七。四五五。七七一号
東京事務所　東京都芝區新橋二ノ三八(烏森ビル)　電五七　四八二一
工場電話　二九。二二。七三　三八九。八三。三二九九

眼鏡
專門
玉屋
平市二丁目
各眼科醫指定
視力試驗設備が有ります
進む文化に守る視力
新設電話九一〇番



カメラ不足につき最高價格で頂戴いたします

▲開業御挨拶▼
この度レントゲンを新設し左記に開業いたしました今後とも一層の御交誼をお願ひ申上ます
平市一丁目四九(公會堂通り)
レントゲン科
内科
谷口醫院
電話八番
谷口孝雄

◇小型自動車修理部◇
ダットサン
ダイハツ
マツダ
平警察署前通
三浦商會
電八六三番